

## 70歳現役社会づくりについて

### 【調査の目的】

我が国は、世界有数の長寿国ですが、「長寿」というだけではなく、高齢の方の体力や運動能力も向上しており、さらに高齢の約7割<sup>(\*)</sup>の方が「70歳以降も社会で活躍したい」という高い就業意欲もお持ちであることが分かっています。

福岡県では、このような高齢者に応えるため、「70歳現役社会づくり」に取り組んでいます。この取り組みの柱として、高齢者の総合支援拠点「福岡県70歳現役応援センター」を設置しています。

福岡県70歳現役応援センターでは、高齢者の活躍の場の拡大や就業・社会参加支援、意識改革等に取り組んでおり、今年で開設から7年目を迎えました。

そこで、皆様のご意見をお聴かせいただき、課題を整理したうえで、今後の取り組みの参考にさせていただきたいと思えます。(\*1 内閣府高齢者の地域社会への参加に関する意識調査(平成25年))

(福祉労働部労働局新雇用開発課)

### ※「70歳現役社会づくり」とは

年齢にかかわらず、それぞれの意思と能力に応じて、働いたり、NPO・ボランティア活動等に参加したり、活躍し続けることができる選択肢の多い「70歳現役社会」の実現のための取り組み

### ※「70歳現役応援センター」とは

「70歳現役社会」を実現するため、県内4か所(福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市)に設置された高齢者の総合支援拠点。高齢者の就業や社会参加支援、企業・従業員向けセミナーや介護セミナーの開催等に取り組んでいます。

### ※「70歳現役社会推進協議会」とは

経済団体・労働者団体・ボランティア団体・行政等の18団体で構成された「70歳現役社会づくり」に向けた取り組みの推進を図る協議会

### ※「九州・山口70歳現役社会推進協議会」とは

九州・山口各県・経済団体・労働者団体が一体となって「70歳現役社会づくり」のための取り組みを行う協議会

### ※「九州・山口70歳現役社会推進大会」とは

「70歳現役社会づくり」の気運醸成を図るため、九州・山口各県が開催する大会。昨年は、本県において第1回大会を開催した。

問1 あなたは、「70歳現役社会づくり」の取組みを知っていますか。  
次の中から当てはまるものを【全て】選んでください。

【回答内容】

1	70歳現役応援センター	150
2	70歳現役応援センターが実施するセミナー	93
3	70歳現役社会推進協議会	130
4	九州・山口70歳現役社会推進協議会	28
5	九州・山口70歳現役社会推進大会	39
合 計		440

問1-2 問1で「1 70歳現役応援センター」を選んだ方にお尋ねします。  
どこでセンターを知りましたか。  
次の中から当てはまるものを【全て】選んでください。

【回答内容】

1	新聞	27
2	県や市町村の広報	80
3	テレビやラジオ	16
4	図書館に配架されたチラシ	7
5	コンビニエンスストアに配架されたチラシ	4
6	70歳現役応援センターのホームページ	10
7	その他	40
	未回答	221
合 計		405

問1-2-1 問1-2で「7 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に記載してください。

【回答内容】

- 高齢者向けセミナー（60代）
- このアンケートで知った。（類似回答5人）
- 飯塚オフィスの前を通りかかって看板を見た。（50代）
- 福岡県中高年就職支援センターと同じフロアなので、そちらに用事があったときに、どんなどころかなと思い、立ち寄ったことがある。（40代）

- チラシ類を見たことがある。どこでみたかは失念。(50代)
- 知らない。(類似回答 27人)

問2 あなたが高齢(65歳以上)になった時、どのような活躍の場を希望しますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

【回答内容】

1	再就職(フルタイム)	56
2	再就職(パート)	127
3	シルバー人材センター	34
4	起業	27
5	ボランティア	23
6	有償ボランティア	52
7	地域活動	39
8	その他	16
合 計		374

問2-2 問2で「8 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に記載してください。

【回答内容】

- 在宅勤務等の通勤や時間に拘束されない、自分に合った働き方。(70以上)
- 老後に必要な金額が確保できなければ、フルタイム、パートの希望なく、働ける場所で働くと思う。生活に必要な金額が確保できているのならば、地域や社会に貢献できる地域活動がやりたいと思う。設問では希望と書いているが、どうしても生活に左右されると思う。(40代)
- 畑で野菜を作ったりしながら、可能なら孫の世話をしてみたい。(30代)
- 経済的に問題がなければ、働かず、定年後の生活を満喫したい。(30代)
- 自宅で農業(40代)
- 畑仕事をしながら、自然に囲まれ、静かな環境でゆっくり過ごしたい。(20代)
- 自由な毎日を過ごしたい。(60代)
- 自分自身、社交的では無く、友人関係も十分に築けない状態。そのため、老後のことまで想像できない。自ら孤立してってしまうのではという不安を抱いている。(30代)
- 定年退職後は主婦(50代)
- 現在の仕事(自営業)を通じた地域貢献(50代)
- なってみたいと分からないが、働かなくてよいのであれば、働きたくない。趣味等の

時間に使いたい。(30代)

- 働きたくない。(30代)
- 若い世代に貢献できる事がしたい。保育園や小学校での子供の世話の手伝いや、技能を身につける手伝い等。子供との関わりは、やりがいもあるだろうし、祖父母と疎遠な子供たちも増えてきているので、子供たちにも多様な関わりは必要だと思う。高齢者にとっても、認知症予防に効果的。ボランティア期間等を通して、能力がある程度あれば優遇されるように、有償ボランティアの形にしてもよいと思う。(30代)
- 趣味の時間を持ちたい。(30代)
- 最低でも75歳まで働く事を見据えて、公務員から民間企業を経て個人事業主になった。先行きが見えない日本で保護されるのは、政治家と公務員だけと思う。(30代)
- 農業で休耕田を耕作したい。(40代)

**問3 あなたは、何歳まで働きたいですか。**  
次の中から【1つだけ】選んでください。

【回答内容】

1	60歳まで	37
2	65歳まで	75
3	70歳まで	54
4	75歳まで	8
5	働けるうちはいつまでも	199
合 計		373

**問4 あなたが「70歳現役応援センター」に望む機能は何ですか。**  
次の中から【1つだけ】選んでください。

【回答内容】

1	70歳まで働ける企業の拡大	72
2	高齢者向けの求人開拓	75
3	働くことへのきっかけをつくるためのセミナー等の開催	16
4	定年退職後も活躍するためのセミナー等の開催	32
5	人材を求める企業と高齢者とのマッチング	103
6	地域やボランティア活動と高齢者のマッチング	67
7	その他	9
合 計		374

**問4-2 問4で「7 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に記載してください。**

**【回答内容】**

- 起業家の育成。高齢者が働いてイキイキすることは、病院をたまり場にしているお年寄りよりもはるかに良い。(40代)
- 現時点では、該当する高齢者世代にどのような需要があるのかを見極めること。つまり、画一的な対応ではなく、柔軟な対応が出来ることが望ましい。(30代)
- 70歳時点での体力や能力は人それぞれなので、その時に自分に何が出来るかは分からない。でも選択肢がたくさんあればやってみようと思える。私たちの年金額はわずかなものだと思うので、少しでも年金の足しになるような短時間で出来る仕事や特技を生かせる仕事、このような選択肢を多く取り入れてほしい。(40代)
- 現役で働く事も大事だが、それで保険料や所得税を払っていくから働きたくない人も多いのではないかと。働くにあたり、もう十分税金払ってきた70歳以上の社員やパートに税の優遇等をすべき。高齢者を雇用する会社には、少し助成金があるのに、働く人には、何も得がないのはおかしい。なにか免除等があるなら、周知して欲しい。(30代)
- 退職された人を対象にしては遅い。退職前の方も対象として活動した方が、退職後も働く方が増える。そこは各企業任せにしない方がいいのではないかと。(30代)
- 製造業を若い人に開放して、地域を支える産業を適用できる「場」を作り出すセンターとしての機能。(40代)

**問5 その他の意見**

- 非正規雇用が拡大した時代は、将来に年金受給額の少ない人が増加する。今の年金受給者よりもっと貧困老人が増えると予想できる。生活保護費は増大し、社会保障費は膨大な費用を要することになる。足りない生活費を自ら稼ぐ「70歳現役社会づくり」の成功が鍵になると思う。(70以上)
- 70歳に限定した話ではないが、加齢による感情のコントロールができない高齢者が多いように思う。社会で活躍するためにも、そのような高齢者の対応にも力を入れて頂きたい。(40代)
- 60歳を過ぎたとたん賃金が低下するのはおかしいと思う。それまでと何も変わらない仕事内容・時間で労働しているのに、賃金だけ安くなるのは全く納得できない。(30代)
- ベテランの方の人材を確保して、社会を豊かにすることは、今後大切になる。(50代)
- 70歳で働きたい人も働きたくない人も、また身体的に働けない人もいると思う。多様性が認められる社会につながる運動であって欲しい。(30代)
- 人材を求める企業とのマッチングをスムーズに行えよう、個人登録をすれば企業紹介を自動的にしてくれる仕組みを作ってほしい。現実には、どこに相談に行けばいいのかも分からない。それらしき所へ行っても、自分で調べるだけであれば、なかなか仕事

に結びつかない。(60代)

- 自身のこと。まず健康を維持していくのが基本だが、健康であるうちは色々とできることはある。しかし、もっと体力に合う就職があると思うのに、それを受け入れる社会が整っていない。(70以上)
- 高齢でも仕事を望む人がいれば、時給が半分でもいいから（無給では働く意欲がわからない）、お店と交渉して開拓して欲しい。人は皆、自分が役立つこと、社会の中で役割があることを望んでいる。(50代)
- 70歳で仕事をしなければ生活できない人や、趣味を楽しんでいる人等様々で、格差が広がっているように感じる。(40代)
- シルバー人材センターの利用を検討する機会があるが、金額が高いため毎回利用しない。ベテラン故の高額設定なのか分からないが、高齢者が増える今後は、価格を少し下げて、その分、成約率を上げるべき。(40代)
- 仕事を辞める等、日々の刺激がなくなると、認知症のリスクが高まってしまうため、ボランティアや仕事、セミナー等、参加するものがあれば良いと思う。人材として捉えるのはもちろんだが、病気を発生させるリスクマネジメントの側面も主張して良いと思う。(30代)
- 正直、70歳まで現役だと、若者の就職に弊害がでるのではないかと心配する。ちょうど私が就職氷河期世代なので、高齢者よりもニートの方々を就職優遇してほしい。(30代)
- 今後AIの発達により、人為的仕事が少なくなると共に、マンパワーではないとならないものははっきりしていくと思う。その仕事が、年齢や経験を積んだ高齢者が活躍できる仕事であればと思う。(40代)
- 視力・聴力が衰えても働ける場所の確保をお願いしたい。(50代)
- 年齢によって再雇用や就職が差別されない社会を目指してほしい。(30代)
- シルバー人材センターでやっている仕事をもっとアピールした方がいいと思う。子育てしながら働く女性にとっては、お手頃な価格で子どもの面倒をみてくれる人の存在はありがたい。(30代)
- ボランティアセンターの拡充(70以上)
- 70歳と区切ると70歳を越えた時に寂しさを覚えるし、施策の外にいる気にもなるので、「長寿現役社会」「ずっと現役社会」等にネーミングを変更した方がいい。(40代)
- 現在66歳！自業自得とはいえ、年金は月12万程度しかない。どうにか生活していく程度。先輩は80歳まで働いていたので、頑張るしかない。(60代)
- 素晴らしい取り組みと感じているが、健康上の理由で働くことができない高齢者もいるので、最低限の生活が送れるよう生活の保障、福祉の充実もお願いしたい。(40代)
- 私も62歳で現役をリタイアした。当時は今と違い不況のせいもあり、やむなく退職勧奨に応じた。再就職のためにハローワークに行っても、60歳以上の求人はなかなかないのが現状。(70以上)
- 全員が全員70歳や70歳以降まで働かせるのではなく、各自任意の年齢までで「引退したり」「働いたり」「活躍したり」できる社会になるのが良い。(30代)
- 私個人としては、70歳を過ぎて働く意欲はない。センター開設も7年経過したということで、ハローワーク並の認知度がもてるよう、よりセンターの高齢者に向けた周知をすること。(50代)
- 高齢社会とはいえまだまだ取り組みが認知されていない。(60代)

- 元気な高齢者なら採用したい会社もあるので、活動を広く知ってもらうような活動をしてほしい。(30代)
- 今の70歳は、まだまだ若い。また、経験もあり、十分に社会の戦力になる存在であるため、もっと人材活用していくべき。少しの時間でも社会活動ができるよう、センターが力を発揮して積極的な活動をし、また県としても70歳の活用に関し、企業を応援する体制を作っていただきたい。(50代)
- 当面は人材育成、求人開拓やマッチングといった実務的な側面に重点を置いてよいと思うが、将来的には高齢者の社会的生活の充実と発展を進める多機能型の制度として運用できれば理想的。(50代)
- よい取り組みだと思った。積極的にやって欲しいし、協力ができるところがあったら協力したい。実際70歳はまだまだ現役だと思う。やる気と能力のある人は、是非雇いたい。(40代)
- 65歳を過ぎ、一旦退職した場合、主に地域の無償ボランティアが主になっている。無償ではなくしっかりと賃金がでるようなシステムが必要。(50代)
- 大企業で、60歳以降は正規雇用をしない場合は、国が積極的に定年延長の制度を薦めるべきだと思う。(50代)
- 61才で、現在求職中。ハローワーク主催のパソコンセミナーに応募したが、若年者の求人を優先するので人数制限があるセミナーには、受講出来ないと言われた。結局、高齢者には、絵に書いた餅。働く意欲も削がれる。(60代)
- 70歳に関わらず、生きている限り働き続けて収入を得なければ、経済的に生活がなりたたない。(60代)
- 色々な事情で働く必要がある人の為に、働く場の充実や、リタイアした人の社会との関わり(ボランティア)を持たせるための提案等が少ない。(60代)
- 「NPO・ボランティアセンター」や国の「よろず支援拠点」との連携をもっと深めていただきたい。現行の70歳現役社会づくりによる施策は「次につながらない講座」が中心というイメージがあり、営利にせよ非営利にせよ法人登記・団体設立・ビジネスモデル構築等のより具体的な講座を相互の拠点の活用・分担により充実させてもらいたい。(40代)
- 福祉的なアンケートでは、働きたい高齢者の割合は日本がダントツで高かったはず。働ける環境整備、また働くメリットや年金減額・調整がされない事も大事だと思う。(30代)
- 外に働きにできれば収入にはなるが、地域の活動はボランティアになるので、地域での活動も収入となる方がいいと思う。そのため、公民館をもっと有効に活用した方がいいのではないか。(例：シルバー人材センターを公民館に設置。小物などの販売ブース設置等)(50代)
- 一人暮らしの方もいると思うので、働けなくなった時の補償や生活のサポート体制も考えて欲しい。老後どう生きるかは、国に任せるだけではなく、県や地域が考え全国に発信して欲しい。(30代)
- 70歳ともなると、定年前の現役世代と考え方に差があったりして、同じ職場では難しいのかと思う。しかし、自分がいざその年齢になると、やっぱり働く場が欲しいと感じるだろうなとも思う。(40代)
- 70歳という年齢に関係なく、高齢者を応援するスタンスが欲しい。また、その人のニーズと企業のマッチングをさせることが大事。就業ではなくボランティア活動がした

いという人もいる。働く高齢者で職員に愚痴を言う人も見かけたことがある。高齢者が相談できる相手を配置したら良いと思う。(40代)

- 高齢者の知見経験を活かして、子育てアンビシャス等につながる仕組みが欲しい。(40代)
- 私は、62歳で現役を退いたが、今思うに70歳までは十分働けると自信をもって言える。高齢者を労働人口に組み入れても良いと思う。(70以上)
- 嘱託での再雇用は広がりつつあるが、私は定年の年齢を先に延ばすことを期待する。労働人口が減り、年金の支給額も減ると言われているため、働けるうちは高齢でもある程度の収入が得られるように、産学官民の協力支援が必要だと思う。(50代)
- もっと福岡県の取り組みを公開し、一般企業と協働で行えるようにしたら新しいアイデアやサービスが生まれると思う。行政としての役割をもっと開かれたものにして欲しい。(30代)
- 企業側からの積極的な雇用継続への取り組みが不可欠。そのため、70歳までの雇用を義務化する等の法律を改正する必要がある。(60代)
- 今の働くという概念では働けない。(60代)
- 労働力不足のためではなく、積極的に高齢者の経験能力を利活用していくよう、企業、団体等への取り組みがもっと必要ではないか。ワーカー中心感が否めない。(60代)
- 80歳に近い年齢で心身ともに健康。そのため、社会で活躍したいが、「70歳まで」の運動だから、全く虚しく記事を読む場合がある。働く場がないので、テニス等で憂さ晴らしをしているのが現状。(70以上)
- 高齢になっても現役を続けるためには、体力があり、健康であることが前提。個人の健康状態や体力にあわせた活躍の場が多様にできる社会になるといいと思う。(40代)
- 私自身、人材関係の仕事をしているが、一般的な高齢者の能力に見合った仕事というものがないと感じている。一方で年齢を問わずできる仕事を若者がしていることもある。企業の仕事内容をしっかり洗い出し、適した仕事を振り分けて欲しい。また、働かざるを得ない高齢者もいると思うので、税金・年金等にしっかり向き合っていて欲しい。将来の自分を思うと心苦しい問題である。(30代)
- 私はまだ定年まで約25年あるが、その際に雇用問題がどうなっているか非常に不安に感じる。是非、雇用拡大のために福岡県には頑張って欲しい。(30代)
- 単に作業系だけでなく、現役時代の専門を少しでも生かせるネットワークの構築をお願いしたい。(60代)
- 70歳を応援するのは構わないが、現役世代も応援してほしい。私たち世代はまだ良いけど、私たちより下の世代になった時にどうなるのか心配。(30代)
- 高齢者という既成概念を無くすこと。(60代)
- 70歳現役社会づくりは素晴らしいと思うが、否が応でも70歳過ぎても働かざるを得ない世になるのではないかと心配。だから、2030年問題も起こり得ないかと考える。年をとってもできる単純な仕事が溢れていればいいのだけれど、実際は、人手不足の職場環境と高齢労働者がマッチしないというのが問題とを感じる。(30代)
- 定期的に健康と体力チェックをしながら、無理のない範囲で働けると安心。(30代)
- 働く意欲がある人がいるのは良いことかもしれないが、ただでさえ日本人は働き過ぎ。70歳まで働かざるを得ない人もいる。私は70歳になったら悠々自適な引退生活を送りたいが、おそらく働かざるを得ないだろうなと思っている。(30代)